

2011年3月期第2四半期 決算説明会

2010年11月24日
株式会社コンテック

目次

1. 2011年3月期第2四半期 業績(連結)
2. 2011年3月期第2四半期 財政状態(連結)
3. 2011年3月期の見通し(連結)
4. 2011年3月期事業計画(基本方針)
5. 事業別の戦略

1-1. 2011年3月期第2四半期 損益計算書(連結)

(単位:百万円)

	2011年3月期2Q	前年同期	増減額
売上高	7,698	4,857	2,841
営業利益	327	△595	922
経常利益	330	△629	959
当期純利益	260	△414	674
1株当たり 当期純利益	78.81円	△125.51円	

1-2. 2011年3月期第2四半期末 貸借対照表(連結)

(単位:百万円)

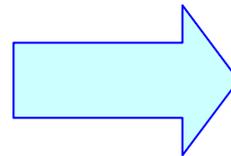
科目	2011年3月期2Q末	前会計年度末	増減額
資産の部			
流動資産	10,742	8,809	1,933
固定資産	3,259	3,322	△63
資産合計	14,002	12,132	1,870
負債の部			
流動負債	7,590	5,120	2,470
固定負債	1,259	2,030	△771
負債合計	8,849	7,150	1,699
純資産の部			
株主資本	5,328	5,117	211
評価・換算差額等	△191	△154	△37
少数株主持分	15	19	△4
純資産合計	5,152	4,982	170
負債純資産合計	14,002	12,132	1,870

1-3. 報告セグメントの変更

会計基準の変更に合わせて、報告セグメントを変更いたしました。

旧セグメント(単一事業)

電子機器 事業	D&C事業部門 (デバイス&コンポーネント事業部門)
	S&S事業部門 (ソリューション&サービス事業部門)
	EMS事業部門



報告セグメント(2つの事業)

電子機器 事業	D&C製品 (デバイス&コンポーネント製品)
	S&S製品 (ソリューション&サービス製品)
EMS事業	

報告セグメント		概要
電子機器事業	D&C製品	産業用パソコン及びその周辺機器の開発・製造・販売
	S&S製品	ソリューション、システム、サービスの提供
EMS事業		電子機器の製造販売

1-4. 報告セグメントの業績

(単位:百万円)

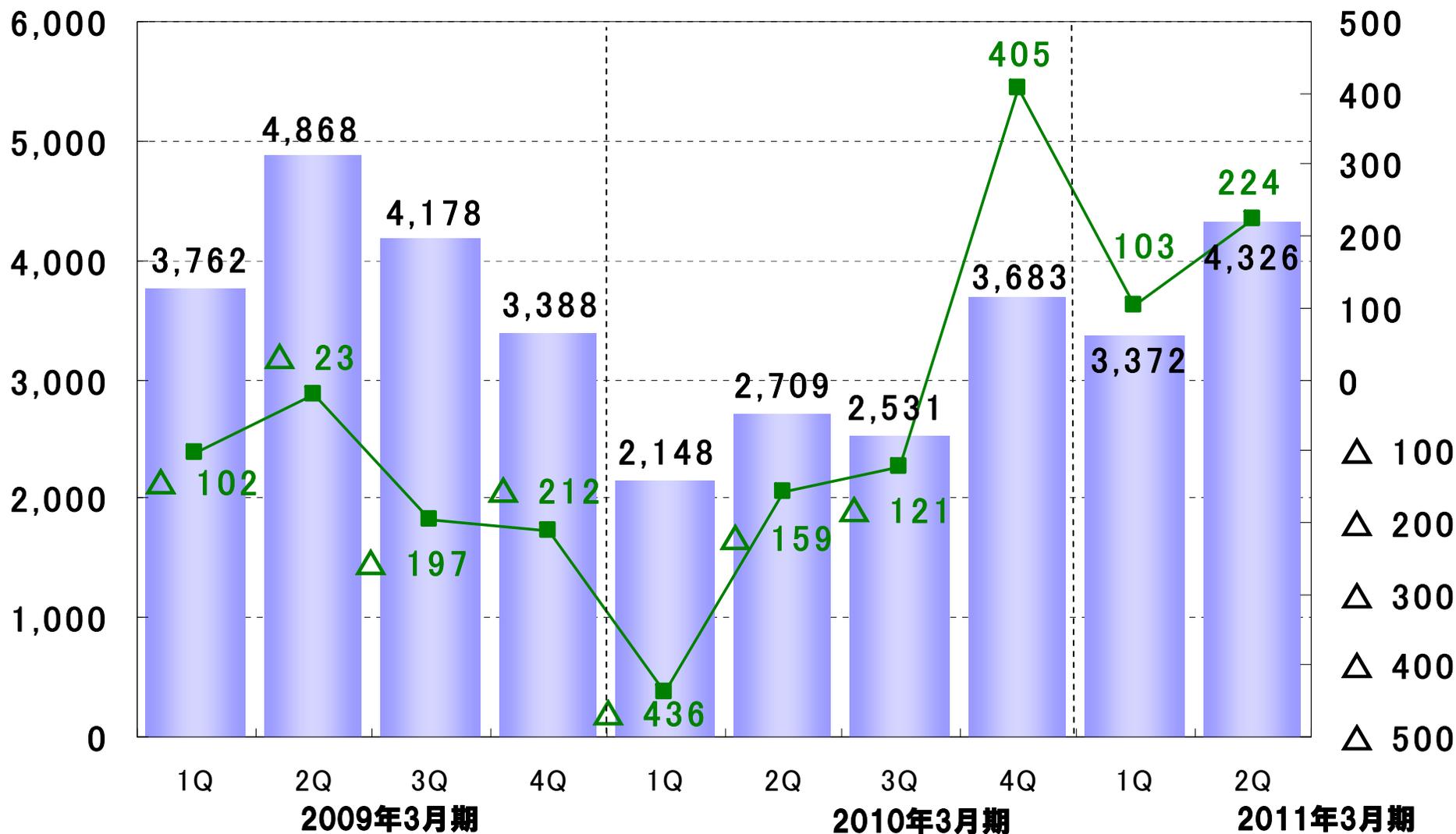
	売上高		営業利益	
	(2011年3月期2Q)	(前年同期)	(2011年3月期2Q)	(前年同期)
電子機器事業	4,034	—	113	—
EMS事業	3,664	—	223	—
連結調整等	—	—	△8	—
合計	7,698	—	327	—

* 今期より、報告セグメントを変更したため、前年同期の実績値は表示していません。

1-5. 四半期別の業績推移(連結)

売上高
(単位:百万円)

営業利益
(単位:百万円)



2. 2011年3月期第2四半期 財政状態(連結)

2011年3月期 第2四半期末における現金及び現金同等物

2,733百万円(前連結会計年度末比123百万円の増加)

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

252百万円の収入超過
(前年同期は58百万円の支出超過)

■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

57百万円の支出超過
(前年同期は429百万円の収入超過)

■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

50百万円の支出超過
(前年同期は910百万円の収入超過)

3-1. 2011年3月期 通期業績見通し(連結)

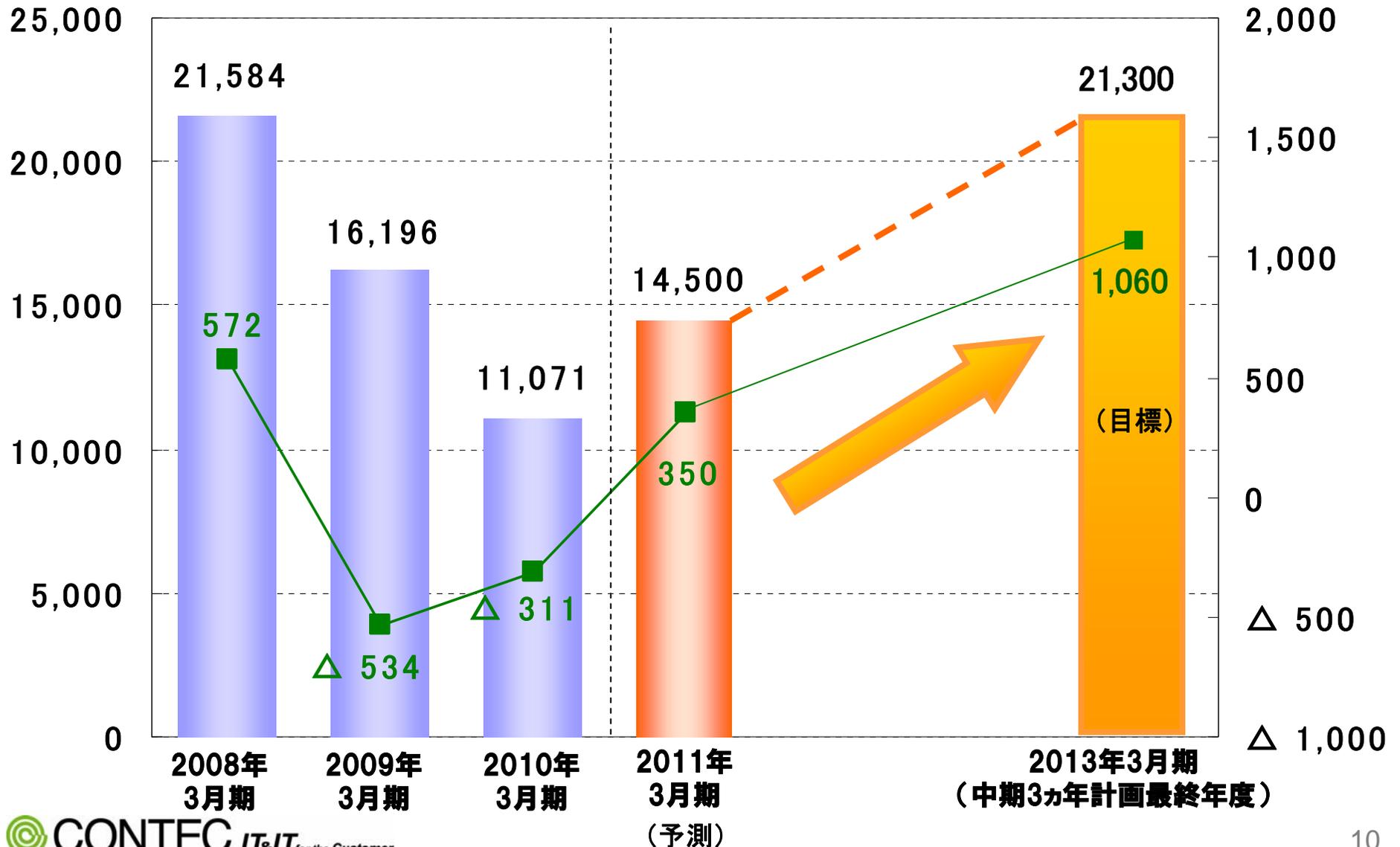
(単位:百万円)

	11月8日修正	5月13日公表時点	増減額
売上高	14,500	12,000	(2,500増)
営業利益	350	100	(250増)
経常利益	340	60	(280増)
当期純利益	260	10	(250増)
1株当たり 当期純利益	78.81円	3.03円	

3-2. 売上高の予測と目標(連結)

■ 売上高
(単位:百万円)

—■— 営業利益
(単位:百万円)



4. 2011年3月期事業計画(基本方針)

1. 営業体制の変革で成長分野を深耕

2. 海外市場の売上拡大

3. 技術・開発体制の強化

**4. 生産体制の再構築による
コストダウンの推進**

5. 事業別の戦略

1. 電子機器事業

D & C製品を各市場に対して拡販する。
機器とソフトウェアをパッケージ化しソリューションを市場に提供する。
市場の顧客毎に個別システムを提供する。

2. EMS事業

電子機器製造業の中でも、多品種・少量生産をターゲットとする。

- 物流システム周辺装置
- 電子機器の組立業務
- 基板実装



新規事業開発

「新市場・新技術」を対象に「脱本業化型事業」を目指し、
エネルギー分野の新規事業を開発する。



この資料には、当社の現在の計画や業績の見通しなどが含まれております。それらの計画や見通しなどは、現在当社が入手可能な情報を元に計画、予測したものです。実際の業績などは、様々な条件の変化により異なった結果となることがあり、この資料は、それら計画や見通しなどの実現を保証したものではありません。

株式会社コンテック